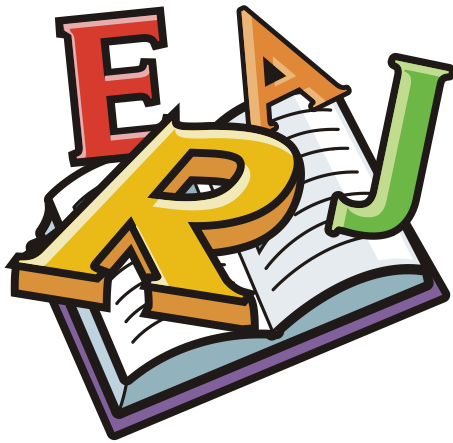


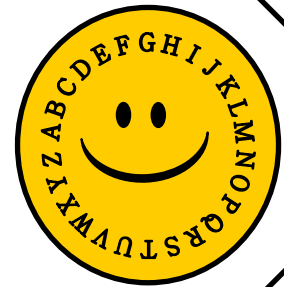
英語多読のススメ

文法・単語の
暗記不要!

辞書不要!



英語を楽しむ!
「英語多読」を始めてみませんか?



英語多読とは

多読三原則に従い、やさしい英語の本をたくさん読むことで、英語がいつの間にか身につく方法です。

難しい文法用語や単語の暗記は一切不要！多読三原則に従って読むことで、英語をいちいち日本語に訳さず、英語を英語のまま理解することができるようになります。

★多読三原則★

- ① 辞書は引かない（辞書を引かずに楽しめるものを読む）
- ② わからないところは飛ばす（分かるところをつなげて楽しむ）
- ③ つまらなくなったらやめて、他の本に移る（自分が面白いと思う本を選んで読む）

Q & A

■絵本から？こんなに簡単な本でもいいの？

いいんです！絵が多く、文が短いものは、お話の中で何が起きているかがわかりやすく、無意識に日本語に訳してしまう癖をとることができます。訳さずスラスラ読める感覚が分かったら、違う本を手にとってみましょう。

■辞書を引かずに英語の本を読めるの？

いきなり難しい本を読むのではなく、自分に合ったやさしい絵本から読み始めるため、知らない単語ばかりが出てくることはありません。辞書は引かず、日本語に訳さずにスラスラ読む習慣をつけましょう。

また、知らない単語が出てきたとしても、絵や前後の話の内容から、文の意味をなんとなくつかめます。単語1語1語の意味を正確にわかっていないと、その本を読み進めることができないということはありません。わからない単語が少しくらいあっても大丈夫です。

■わからないところを飛ばして語彙は増えるの？

知らない単語でも、よく使われる単語は、何度も出てきて、同じような場面で使われることがあるので、辞書を引かなくてもいつの間にかわかるようになり、自然と語彙も増えていきます。

しかも、読んでいた物語の場面とともに「生きた」使われ方が頭に残り、単語集で丸暗記するよりも忘れにくくなります。

多読図書は2種類 GR と LR

多読の本は2種類あります。

■GR (Graded Readers)

英語学習者向けに書かれた本。使用される単語や文法がレベルごとに決められており、英語学習者への配慮がされているので、日本人にも読みやすく感じられます。

■LR (Leveled Readers)

英語を母語とする児童向けに書かれた本。英語を母語とする児童向けの本なので、内容的には絵本に近いものが多いです。英語圏で実際に日常使われる単語や表現がたくさん出てきます。

GRは英語学習者向けに単語や文法がある程度制限されているのに対し、LRは英語を母語としない私たちには馴染みのない単語や、単語としては知っていても見たことのない使われ方をしているので、GRよりも少し難しいと感じるかもしれません。その代わりに、LRは生きた英語と出会い、英語を母語として育つ子どもと同じように言葉を覚えたり、物語を読むことの楽しさを知ることができます。わからないときは、絵やストーリーから推測してみましょう。それでもわからない場合は、とりあえず飛ばしましょう。次のページでわかるかもしれませんし、別の本でわかるかもしれません。単語や表現一つひとつに立ちまるよりも、とにかくたくさん読むことで自然とわかるようになる感覚がきつとつかめるはずですよ。

読書を楽しむ

多読を続けるコツは、読書を楽しむことです。読んでいる本が「面白くない」「難しい」と感じたら、思い切って読むのをやめましょう。無理に最後まで読もうとせずに、もっとやさしい本、趣味に合った別の本を手にとってみてください。(多読三原則③つまらなくなったらやめて、他の本に移る)

物語に入り込んで、その場面とともに英語に触れることにより、頭と心で英語を記憶できます。楽しみながら続けましょう。